

## 【1】同居する好消費と堅実消費意識

## ② 伸長する堅実消費意識

消費意識は近年、堅実な方向性を強めている。

消費意識の時間的変化について、2009年より継続的に測定している29項目より検証した。「そう思う」という賛成率について、2009年から2012年の4年間で、7つの項目に大きな変化が認められた。

上昇した上位5項目は「お金はなるべく使わずにすませたい」「家の中には、生活に必要最低限のものがあればそれでよい」「消費は『美德』だと思う」「欲しいものはお金を貯めてから買う」「分相応なものを選ぶべきだ」である。5項目中、3項目は堅実消費、1項目は知足消費項目であり、消費意識は堅実な方向性が強まっていると考えられる。下降したのは、「自分の趣味にはお金を惜しまない」「つきあいや交際のための支出は削れない」の2項目である。いずれも積極的な支出を支持するものであり、趣味や交際など特定の分野への支出を抑制していく動きがあると考えられることができる。

上昇した項目、下降した項目の両面からみて、消費意識は堅実な方向性を強めていると言える。

図表3-2. 時系列でみた消費意識の変化

2009年から2012年で変化の大きい消費意識						(%)
	因子軸	そう思う計		差(2012年-2009年)		
		2009年	2012年			
上昇した項目	お金はなるべく使わずにすませたい	堅実	51.4	59.7	8.3	
	家の中には、生活に必要最低限のものがあればそれでよい	知足	39.4	47.5	8.1	
	消費は「美德」だと思う	好消費	9.6	15.3	5.7	
	欲しいものはお金を貯めてから買う	堅実	56.0	61.0	5.0	
	分相応なものを選ぶべきだ	堅実	58.5	63.0	4.5	
下降した項目	自分の趣味にはお金を惜しまない	趣味	39.0	32.8	-6.2	
	つきあいや交際のための支出は削れない	関係	47.8	40.4	-7.4	